

# 若者を育てる 大人が変わる



えひめ若年人材育成推進機構常務理事  
ジョブカフェ愛workセンター長 大内 由美

私が勤務するジョブカフェ愛work  
(注1)は、若年者の高い失業率を背景に、  
国の「若者自立挑戦プラン」の元、平成16  
年7月に開設されました。

ジョブカフェ愛workでは、15歳か  
ら34歳の若者を対象に、キャリアコンサ  
ルトによる就職相談、就活セミナー、  
職場体験、職業紹介等をワンストップ  
サービスで提供しており、現在までに延  
べ22万人の若者に利用されています。

現在、一部景気の回復傾向、2007

年問題等が要因とな  
り、新規卒者に関  
しては、求人数が急  
速に伸びている一方  
で、「就職氷河期」と  
言われた時代に正規  
雇用の機会を逃し  
た年長フリーター  
問題、毎年増加する  
早期離職率(愛媛県  
では、平成19年3月



ジョブカフェ愛workは、松山市銀天街  
GETビル4階です。

調べで4大卒者の3年以内離職率が40  
・4%等、若者の雇用問題は、経済動向や  
社会システムの変化に翻弄され 複雑化し  
ています。

このような状況の中で、経済産業省は  
産業界と教育界の協力を得て、若者が社  
会に出て働くために必要となる力を分析、  
整理し、「社会人基礎力」(注2)としてま  
とめました。「社会人基礎力」を、①前に  
踏み出す力②考え抜く力③チームで働く  
力の3つとし、さらにそれぞれを12の具

体的な能力に分けて  
説明しています。こ  
れは、まさに「生きて  
いくために必要とさ  
れる力」であり、今の  
若者に足りないの  
はと感じている大人  
が多く、私もそう感  
じている1人です。

「社会人基礎力」は、  
幼少期から家庭、学校

で生まれ、就職後は、職業経験を通じて伸  
びていくものですが、この家庭、学校、職  
場がそれぞれに「若者育成」の特効薬を探  
しているのです。さて、あなたは「特効薬」  
は何だと思えますか？

私たちジョブカフェ愛workの  
スタッフは、愛媛の若者が就職し、望むなら  
家庭を持ち、自分が住む地域を支えてい  
く「市民」としての役割を担って、幸せな  
人生を送って欲しいと心から願っています。  
その思いを行動に移すべく、愛媛県が  
主体となり、ジョブカフェ愛workの  
運営母体として「えひめ若年人材育成推  
進機構」を立ち上げ、学校のキャリア教育  
や企業の若者採用、育成の支援にも力を  
入れています。

スローガンは「若者を育てる 大人が  
変わる」です。

今の若者の状況をつくり出したのは、  
他ならぬ私たち大人であり、今問われて  
いるのは、家庭、学校、職場を含む「地域  
力」です。地域に住む大人一人ひとりが、  
目の前の子供、若者を見守り、育むことを  
強く意識し、行動を変えることです。例え  
ば、家庭で親が仕事の面白さや、やりがい  
について子供に話す、「フリーター・ニー  
ト」という言葉で若者を評価することを  
止め、まず話を聞いてみる等、一人ひとり  
の小さな変化が大切なのです。

「特効薬」は、あなたです。あなたは、ど  
う変わりますか？

(注1)「ジョブカフェ愛work」 <http://www.ai-work.jp/> (注2)「社会人基礎力」 <http://www.jobcafe-sc.jp/index.html>